

令和3年度 小林市立南小学校 自己評価書

NO. 4

評価段階 4：期待以上 3：ほぼ期待どおり 2：やや期待を下回る 1：改善を要する

学校経営 ビジョン	<p>○ 南小学校の伝統を大切に、児童、教職員、保護者、地域が「自分たちの学校を自分たちでつくる」という当事者意識をもち、次代を生き抜く自立した人材を育てる学校として創意と工夫をこらし、活気ある教育活動を展開する。</p> <p>令和3年度スローガン 『みんなでつくる みんなの南小学校』</p>
--------------	--

〈食育〉 ○ 望ましい食習慣と「豊かな食」への意識

評価 項目	本年度の重点目標と 目標達成のための手段	具体的な数値目標	具体的な取組状況	自己評価		結果の考察・分析 及び改善策
				取組別	総合	
食 育	1 家庭、地域と連携した食に関する指導の充実	○ 食習慣への意識を高める資料提供	<p>○ 各学級で給食時間に「マナーカード」を掲示し、食事の望ましい態度やマナーを育成を図る。</p> <p>○ 保健だより、給食だより等を通じて、保護者へ食育への啓発を図る。</p> <p>○ 6年児童が「こばやし食育教室」に参加し、食に関する意識を高める。</p>	2.87	2.99	<p>・マナーカードの活用により、姿勢、箸やお碗の持ち方など意識を高めることができた。</p> <p>・6年児童の食育教室に参加し、地産地消、食の大切さを学ぶことができた。</p>
	2 自らの食を意識する活動の充実	<p>◎ 発達段階に応じた「弁当の日」の取組</p> <p>○ 食に関わる人へ感謝する活動</p>	<p>○ 遠足時に「弁当の日」を設定し、発達段階に応じた取組をさせる。</p> <p>○ 本年度は、調理実習を実施していないため、家庭で調理に関わる機会を設けるよう呼びかける。</p>	2.87		<p>・弁当の日を計画的に実施できたことで、児童の食に関わろうとする意欲を高めた。</p> <p>・調理実習が実施できなかったが、栄養教諭を講師として、栄耀と望ましい献立を学習することができ、自分の食を振り返ることができた。</p>
	3 給食指導と食事マナーの徹底	<p>◎ 給食準備、食事、片付けの衛生管理</p> <p>○ バランスよく食べる習慣や食べ残しの減量</p>	<p>○ 月毎に残菜調査を行い、残菜量を職員で確認したり、給食コンテナ室前に掲示したりして、残さず食べる意識を高める。</p> <p>○ 毎日の給食指導において、マナーや偏食指導を行う。</p>	3.23		<p>・月毎に残菜量を職員に提示することで、職員が児童に指導するときに生かすことができた。</p> <p>※ 残菜量（1月0.8%）</p> <p>・給食時間を中心とした、マナーや偏食指導を毎日行うことができた。</p>

